

おつかいできたよ!

市のうごき (H22.10.31現在) ()は昨年同月対比

- 人口/34,544人
- 世帯/14,315戸
- (男/16,692人 女/17,852人)
- 出生/22人 ■死亡/36人
- 転入/84人 ■転出/63人
- 対前月人口比/7人増
- 10月の火災・救急事故
- 火災 1件(2件減)
- 救急 132件(10件増)
- 10月の交通事故
- 事故件数 14件(5件減)
- 死者 0人(増減0)
- 傷者 15人(7件減)

文芸

鶏頭は少年兵を記憶する
 逝く夏の余白棚田に古代米
 秋風にシヨートヘアの小学生
 秋深む男の唄うおんなうた
 戦い終え明日に真白い日傘差す
 白萩のほろほろ母の遠忌来る
 桐の花遠くコレンス女学院
 糸筋ほどの金木犀の香日曜日
 言いたせず無邪気なふりする月見草
 秋桜石のテーブル石の椅子

花野句会

森 武司
 影山 公子
 岸田 房子
 山本 房
 井上 育子
 安丸 秀美
 高橋 栄子
 島中 康雄
 門田みつこ
 尾崎 百代

みんなの広場



香我美町徳王子のコスモス畑

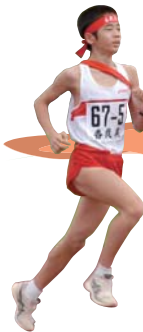
このコーナーは、皆さんからお寄せいただいた投稿写真や、声を紹介するコーナーです。いろいろな情報をお待ちしています。

10月29日に広報係へ「コスモスが満開です」と香我美町徳王子の門脇義之さんからお電話をいただきました。伺った場所は、徳王子のライスセンターを東へ突き当たるまでの道中です。1町2反ほどもある門脇さんの田んぼは、色とりどりに咲き誇るコスモスで敷き詰められ、色鮮やかなじゅうたんのよう!ミツバチが、収穫に忙しく飛び回り、冬に備えていました。情報提供ありがとうございました。(^^)



11月14日(日)春野運動公園周回コースで行われた「第61回高新中学駅伝競走大会男子の部」において、大会新記録で悲願の初優勝を果たした香我美中学校男子駅伝部。12月19日(日)に山口県で行われる「第18回全国中学校駅伝競走大会」に高知県代表として出場が決まりました。同部の強さの秘訣や大会への意気込みなどを伺いました。(取材/広報編集委員 久保きみ)

全国へ翔ける



★目標に向かって
 香我美中学校駅伝部は、陸上部を中心にソフトボール部、サッカー部、バレー部などに所属する生徒たち男子15人、女子11人で7月に結成されました。監督は今年着任された陸上部の顧問、木村憲章先生。県の中長距離競技選手育成などに携わる先生の指導のもと「全中駅伝への道」が始まりました。
 猛暑の夏休みは、日中の暑さを避け、早朝と夕方二部練習。しかも手渡された日程表には、一日の休みもありませんでした。生徒たちは毎日2度自転車をこいで、学校に練習に向かいます。くじけそうになってもあつたかもしれないが「必ず勝つて全国へ行こう!」と、目標に向かってひたすら走り続けました。

★生徒の印象
 先生に生徒たちの印象を尋ねると「挨拶や礼儀など、すでにキツチりできていました。これもひとえに前任の先生や、駅伝部に関わってきた先生方、ジュニアの指導者をはじめとする地域の方々、保護者の皆様のご指導のおかげだと思います。」
★声援も後押し
 一番近くで見守る保護者もまた熱く、地区予選の1区の選手がトップで中継地点に飛び込んで来た瞬間に早くも号泣。「まだまだ!まだ泣かれん!」と言いつつ涙ながら込み上げるものを押さえ、絶叫にも似た大声援。「遊びたいのも我慢して頑張つて」

★強さの秘訣
 生徒に強さの秘訣は?と質問すると「それは自分自身にしかわかりません」ときっぱり答えた1年生。それぞれが自分の目標タイムを緻密に設定し、ひたむきに努力します。そこに置いた目標や、誰がどれだけの努力をし、どんな辛い思いを乗り越えてきたのかは、人それぞれにしか分からないことだと話してくれました。「このような一人ひとりの高い意識と努力の積み重ねが、チームのレベルを上げる「強さの秘訣」なのでしょう。」

★いざ全国へ!
 「これまで部を築いてきてくれた先輩の存在や、多くの方々の協力に感謝の気持ちをもち、力いっぱい頑張ります」と3年生。全国の強豪校に立ち向かっていく彼らの健闘を心から応援したいと思えます。初陣に恐れるものは何もありません。自分と仲間を信じて...頑張れ香我美中!
 きたこの子らは本当に偉い!と目を押さえながら優勝を喜び合いました。



香我美中男子駅伝部

繋いで、信じて...61年間で最速のチーム

- 第29回香長地区中学駅伝大会(地区予選) 第1位 58分24秒(大会新記録)
- 第61回高新中学駅伝競走大会(県大会) 第1位 58分42秒(大会新記録)